

# 1週間遅れの体育祭は大いに盛り上がりました！

台風19号の影響により、1週間遅れた第22回令和元年体育祭は、10月20日（日）秋晴れのなか行なわれました。

この大会は、明和村から数えると64回目となる伝統ある大会です。開催するにあたりましては、各区長さんを始めとする役員の皆様に多大なるご尽力をいただきましたこと、衷心より厚く御礼を申し上げます。特に今年は1週間遅れでの開催となったため、選手の都合や弁当の手配、慰労会の手配等本当に大変だったと思います。そんな労苦をもろともせず選手選考から書類提出、地域の合意形成、運営や慰労会の設営等に汗をかいてくださいました。



【開会式の様子】

実は、邑楽郡内で今年度の体育祭を開催できたのは、邑楽町（10月6日開催）と明和町くらいです。邑楽町を含めほかの郡内の町では、体育祭の予備日を設けておらず、雨天中止だそうです。今回の台風は別ですが、たまたま雨だったからと体育祭を中止にしてしまうことは、町民の皆様のコミュニティ作りからすると大打撃であると各地域の区長さんの賢明なご判断をいただき、明和町は例年1日（当初予定日より1週間後）の予備日を設けさせていただいております。そして、今回10月20日の予備日に無事に開催できましたことは、周囲の状況から鑑みても、誠に幸福の至りと感じております。

さて、今年の大会からは、従来の優勝、準優勝、第3位、第4位～第16位までの表彰のほかに、前年の優勝チームとの得点差をハンディキャップとしたハンディ部門の優勝、準優勝、第3位も表彰するということを試みました。理由はといたしますと、毎年同じような地区が優勝するという形になりつつあり、下位の地区の参加意欲を少しでもかき立てようと、どの地区でも優勝するチャンスがある「ワクワク感」を加えさせていただきました。そうです、これはゴルフコンペの「ハンディ」と「グロス」の考え方です。従来のグロス（ハンディ無し）の優勝は新里・準優勝は南大島・第3位は須賀でした。また、ハンディ部門の優勝は梅原・準優勝は矢島・第3位は中谷でした。ハンディ部門のほか、得点競技第1位地区には賞金5,000円の賞金が出ることも新たに設けました。狙い通りにこの賞金は偏らずにほとんどの地域に配分された形になりました。



【綱引きの様子（皆さん良い顔しています！）】

どこの市町村でも体育祭への関心が薄れてしまい盛り上がり欠ける、だから雨の場合は順延しないで中止にするという地域が点在するなか、明和町は今年も大いに盛り上がった体育祭を開催することができました。体育祭開催にあたり、台風の影響があった地域に申し訳ないとの意見もありました。しかし、私は逆に大した被害が無かったことに感謝し、地域活性化のシンボルとして実施するのが良いのではないかと主催の明和町体育協会の役員と相談し、ご理解いただき開催となりました。今回の体育祭で培った地域のコミュニティが、今後の地域防災の自助、共助の手助けに繋がるでしょう。つまりは、この町の将来の可能性を広げたということになります。



### 【閉会式の様子（優勝した新里支部）】

今回の体育祭にご協力いただきました大会及び地区役員の皆様がた、大会を盛り上げていただきました多くの参加者の皆様がたに、厚く御礼を申し上げます。

令和元年10月28日

明和町長 富塚もとすけ